

陳情第 2 2 0 号	受理年月日	令和 6 年 1 1 月 2 0 日
付託委員会	建設建築委員会	
件名	門司港鉄道遺構を保存することを求める陳情について	
<p>要 旨</p> <p>門司港鉄道遺構を保存することを求める。詳細は以下の通り。</p> <p>世界が認める門司港の鉄道遺構。貴重だからこそイコモスがアラートを出した。市長はそれを壊すと決めている。第一に、イコモスが世界遺産としての価値があると言っているのに、市長はその価値を検討したのか。第二に、県が指定する千年に一度の大浸水災害が起きるとする場所になぜ建設を進めるのか。水害が起これば区役所や関連の施設が一切使用できなくなるばかりか、救急活動用の機材も活用できなくなるのではないか。第三に、隣接する門司港駅や鉄道公園と連結して、門司港観光遺産に育てられるのではないか。もっとも、中国の兵馬俑とまではいかないまでも、将来、国内だけでなく世界から観光客が立ち寄ってくれるだろう。</p> <p>建設予定地を選定するにあたり、ほかに数件の候補地があったと思われるが、なぜ早急に代替地の活用に切り替えて、設計に取り掛からないのか。これが、市民が最高に望むところと思われるのか。今の計画は、「遺構を潰し役所を建てれば水没。残せば世界の遺構遺産。そして観光資源として期待できる。」そのように考えられないか。</p> <p>教育委員会等は、掘れば必ず遺構が出ると知っていたはずではないか。それなのに、なぜ市長にこの場所を決めさせたのか。遺構の価値は教育委員会が一番分かっているのに、場所選定にあたって教育委員会は、遺構の価値を十分に説明したのか。それを、市長はどう聞いたか。本件の建築計画から建設場所の選定に至るまでの間、市民が納得する情報開示がされていないのではないか。開示して市民が納得する説明をしていただきたい。</p> <p>令和 6 年 11 月 12 日 午前 9 時に開札した門司港地域複合公共施設新築工事の入札結果は不調で発注できず、落札の見通しが立たないのに建設に</p>		

(続 く)

向かうのは無謀ではないか。必ず落札させるのか、不調が続くのか。入札不調の原因は、入札参加全業者が入札しなかったからか。入札したけれど全社が予定価格を超過したのか。予定価格が低すぎて落札業者がいなかったのか。この先、予定価格を水増ししてでも落札にこぎつけるのか。入札不調の本当の原因は何か。

門司港周辺の市民らは、マイナンバーカードを使ってコンビニで対応できる項目が多くなったので、巨大建築物計画を望んでいないのではないか。区庁舎に行かなければならない頻度が多い機関の窓口のみ、門司港周辺に設置すれば足りると思っっているのではないか。

政令指定都市の中で、一人当たりの公共施設の面積が最も多いと言われて、面積削減途中の本市に大きな建物は無用であろう。門司港市民の声をよく聞いて、本当に彼らが望むものを設置してはいかがか。

門司区役所は本市で一番古いと言われている庁舎と聞いている。なぜ今まで改修や移転を計画せず、遺構が出てから庁舎は老朽化して危険と叫ぶのか納得がいかない。今まで市民を危険にさらしたのはなぜか。本建設計画で70億円の予定価格を掲げた。余裕の金員があるのならば、学校、トンネル、市営住宅、アンダーパス、門司区役所、街路樹や表示物の安全対策等々、先にすることが山ほどあるのではないか。

本計画の始まりは、令和元年8月20日に開催された、公募型プロポーザルで初めて表面化したことが分かった。このときに参加した委員の中には建設予定地に遺構があることを知っていた方が何人もいたと想定できる。にもかかわらず、この場所に遺構があるとか、場所を変更せよとか、意思表示をする方はいなかったのか。

また、公募型プロポーザルの前に土地の物色計画があったはずであるが、そもそも、本計画はいつ始まったのか。

市長は、税金の無駄遣いをしないように、いったん立ち止まって、この建設は本当に市民が得をするのか、誰が得をするのか。利権がらみは許されず、議会の言うことを無視できないが、よく考えて自分の意志で決めていただきたい。